

# 就職みらい研究所の活動について

就職みらい研究所は、新卒市場に関する「調査研究」「情報発信」を目的とした研究機関です。

2013年に株式会社リクルートキャリア内に設立され、2018年で6年目を迎えます。

新卒学生の“就職・採用の実態”を把握するための調査や、事例研究などをコア領域として活動しております。

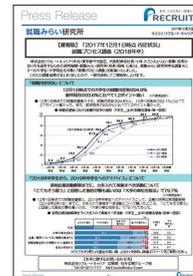
## 研究所の活動領域

“よりよい就職とは何か”を広く、深く探究するために、さまざまな視点から新卒市場を調査・研究しております。主な研究領域は、「学生の就職活動・学生生活」「企業の採用活動」「若手社会人の活躍実態」です。

### 調査研究

新卒市場の現状を広く細やかに把握することで、未来を見通す知見を蓄えます。

基幹調査である「就職白書」「就職プロセス調査」を中心にさまざまな調査・研究を行っています。「就職白書」では、その年の企業、学生の採用・就職活動を振り返り調査し、その年の市場において何が起こっていたのかを把握。「就職プロセス調査」では、就職活動を行っている学生の内定取得率や就職活動実施率などをタイムリーに調査。「オワハラ」や「学び直し」などその時々で注目度の高いテーマについても聴取しています。他にも、「大学生の地域間移動に関するレポート」や、「働きたい組織の特徴」などの調査研究を行っています。



就職プロセス調査



就職白書

### 社会活動

内外の様々な専門家たちと知見を共有し、就職・採用にかかわる人々の相互信頼を高めます。

就職・採用の現場を知る機関として、大学や企業での講演活動や、調査報告、市場状況についての取材対応、執筆を実施しています。また学生、企業に対しても、「産学ワールドカフェ」などのイベントを開催。就職・採用活動に直接かかわる問題だけでなく、インターンシップの状況や、入社後の定着、働き方も含め広いテーマでの情報共有に努めています。



大学生や保護者に向けて、講演を行うことも。

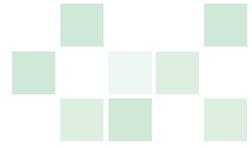
### 情報発信

集めた知見を広く発信し、就職・採用の変革を促します。

調査結果をプレスリリースやサイト上のコンテンツとして発信しています。2018年2月15日には「就職白書2018」のプレスリリースに際し、報告会を実施。多くのメディアに取り上げられました。また就職みらい研究所のホームページでは、調査結果のリリースやイベントや講演の活動報告など最新情報を公開しています。（詳しくはP54をご覧ください。）



「就職白書2018」の報告会ではたくさんの質問が寄せられた。



## 産学ワールドカフェ

産経新聞社、大阪商工会議所と共同で行っている対話型イベントです。学生、企業、大学関係者がホンネを共有することで「よりよい就職とは何か」を考えるきっかけを提供し、相互理解を深めることを目指しています。

「産学ワールドカフェ」は、大学生や大学院生の「就職」や、企業の採用活動、そして入社後の働き方などについて情報を共有し、対話することで相互理解を深めることを目的として実施しています。各回テーマについて、企業、学生の具体的な思いや、取り組みを参加者に共有。また、参加者が少人数のグループで意見交換することでフラットに話せる場づくりを進めています。



参加者同士が少人数のグループになり意見を交換する。

### ■ これまでの開催

- 第1回 2016年11月29日 @難波御堂筋ホール  
対話から探る「選ぶ/選ばない」の分岐点は？ ～企業と学生、それぞれのホンネ～
- 第2回 2017年2月16日 @関西大学 梅田キャンパス  
『ワーク・ライフ・バランス』は本当に実現できる？ ～企業と学生、それぞれのホンネ～
- 第3回 2017年9月25日 @大阪工業大学 梅田キャンパス  
インターンシップは何のため？ ～企業と学生、それぞれのホンネ～



公開インタビューでカルビー社の事例を共有。



福山氏(左)個人のキャリアの積み重ね方も共有。後半には企業と学生が車座で対話した(右)。

### ■ 第4回 2018年2月22日 @関西大学 梅田キャンパス 『働き方改革』時代の就活とは？ ～学生と企業、それぞれのホンネ～

第4回は、「働き方改革」と就活がテーマ。企業の「業績が落ちるのではないか」という不安や、「楽に働けるようになるのでは」という学生の声もある中で、企業と個人の新しい関係性についてどうとらえるべきかを共有しました。

事例紹介では、業績の伸展をつづけながら、働き方改革に取り組むカルビー株式会社の福山知子執行役員が登壇。「『働き方改革』は企業と人がお互いに成長していくために行うもので、その具体的な目指す姿を明らかにするのが、成功のポイント。どんな

施策を行うにしても、この目的に合致するものでなくては意味がありません」と「働き方改革」を進めるうえで必要な考え方について共有いただきました。

対話の中では、企業から「個人がまずは自分のやりたいことを企業に伝え、その中で、企業が理想像に近づくためどういった仕事をしているのかしっかりと伝えていきたい」など採用活動を見すえた声も。学生からは、「今後はより個々の能力を高められそうと感じた」など将来に向けて前向きな意見も上がりました。

### ■ 参加者の声

#### 企業

採用時には聞けないドキッとするような本音が聞けたことで、今後の採用活動の参考になりました。(第1回参加)

学生がインターンシップに対してどのようなスタンスで取り組んでいるか、また他社と取り組みや悩みが共有できよかった。(第3回参加)

#### 学生

「ワーク・ライフ・バランス」の意味を改めて考えるきっかけになりました。改めて「自分がどうしたいか」を考えようと思いました。(第2回参加)

学生目線ではなく、インターンシップを開催する企業の声も聴けたので、今後インターンシップに参加するにあたり役立つと感じた。(第3回参加)

#### 大学関係者

他大学の学生との交流ができ、本学以外の学生の考えや就職先の違いを知ることが出来ました。(第1回参加)

学生さんや企業採用担当者の方の生の声を聞くことができた。学生相談や就職支援に還元したいと思います。(第2回参加)